

募集要項

1. 課程

○ 進学課程：1年6か月/2年

大学・専門学校を志望する人のための受験対策課程です。進学先によって受けなければならない試験や学習到達レベルは異なります。卒業時の学習到達レベルは、進学2年課程がCEFR-C1レベル（JLPT N1レベル）、進学1年6か月課程がCEFR-B2レベル（JLPT N2レベル）程度です。（進学1年6か月課程は10月入学、進学2年課程は4月入学、共に募集定員は40名）

課程名	時間	最大定員	クラス数	備考
進学1年6か月課程	午前8:50~12:10	40名	2クラス	10月生
進学2年課程	午後13:00~16:20	40名	2クラス	4月生
合計		80名	4クラス	

2. カリキュラム

○ 進学2年課程（4月入学、翌々年3月卒業）学習時間：1650時間

科目	到達目標	学習時間
初級1	日常生活の基本的な場面において簡単な日本語によるコミュニケーションが取れ、自分の趣味や体験を書いたり話したり聞きとったりすることができる。（CEFR-A1レベル（JLPTN5レベル））	300時間
初級2	物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようにする、また、文の構造と意味・機能を総合的に理解できる。（CEFR-A2-1レベル（JLPTN4レベル））	300時間
初中級	やや高度な日本語文法・文型・表現を理解し、聞いたり読んだりすることができる。また自分の意見や経験、夢、野心を述べるすることができる。（CEFR-A2-2レベル（JLPT N3レベル））	250時間
中級1	日常身近に体験する出来事や話題に対して、自分の意見や感想を理由とともに述べるができる。異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。（CEFR-B1レベル（JLPTN3レベル））	200時間
中級2	留学生活全般において、異文化の相違や日本での様々な話題に関心を持ち、より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。（CEFR-B2レベル（JLPTN2レベル））	200時間
上級	多種多様で高度な内容のかなり長い文章を理解することができ、含意を把握することができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた言葉遣いを適切に用いることができる。（CEFR-C1レベル（JLPTN1レベル））	400時間

○ 進学1年6か月課程（10月入学、翌々年3月卒業）学習時間：1250時間

科目	到達目標	学習時間
初級1	日常生活の基本的な場面において簡単な日本語によるコミュニケーションが取れ、自分の趣味や体験を書いたり話したり聞きとったりすることができる。（CEFR-A1レベル（JLPTN5レベル））	300時間
初級2	物事をより詳しく説明したり、話者の気持ちをより細やかに伝えたりする表現を用いてコミュニケーションができるようにする、また、文の構造と意味・機能を総合的に理解できる。（CEFR-A2-1レベル（JLPTN4レベル））	300時間
初中級	やや高度な日本語文法・文型・表現を理解し、聞いたり読んだりすることができる。また自分の意見や経験、夢、野心を述べるすることができる。（CEFR-A2-2レベル（JLPT N3レベル））	250時間

中級1	日常身近に体験する出来事や話題に対して、自分の意見や感想を理由とともに述べることができる。異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。(CEFR-B1レベル (JLPTN3レベル))	200時間
中級2	留学生活全般において、異文化の相違や日本での様々な話題に関心を持ち、より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。(CEFR-B2レベル (JLPTN2レベル))	200時間

3. スケジュール

○ 曜日

全課程、月曜日～金曜日（土・日・日本の祝祭日は授業はありません。ただし、行事を行うことがあります。）

○ 時間

全課程 45分×4コマ	1	2	3	4
午前	8:50～9:35	9:40～10:25	10:35～11:20	11:25～12:10
午後	13:00～13:45	13:50～14:35	14:45～15:30	15:35～16:20

4. 期間

○ 課程期間：10月入学生→1年6か月/4月入学生→2年

○ 到達レベル：

[1年6か月課程]留学生活全般において、異文化の相違や日本での様々な話題に関心を持ち、より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。(CEFR-B2レベル (JLPTN2レベル))

[2年課程]多種多様で高度な内容のかなり長い文章を理解することができ、含意を把握することができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた言葉遣いを適切に用いることができる。(CEFR-C1レベル (JLPTN1レベル))

5. 出願資格

- 12年以上の学校教育を修了された方。または、日本で認められた4年生大学や大学院等の高等教育機関を卒業し学士学位を取得された方で、卒業後に日本の大学、大学院、専門学校等への進学を希望されている方。
- 18歳以上の方。
- 学費生活費を確実に負担する方がおり、その方の資産形成過程を通帳などの資料（3年分）で証明できる方。
- 日本語能力については下記のいずれかに該当される方。

出願時の日本語能力

- ① 学校や語学教室等教育機関で150時間以上の日本語学習歴があり JLPTN5程度の日本語力がある方
- ② 日本語能力試験 (JLPT) N5以上、または J.TEST 実用日本語検定 F級以上の合格証をお持ちの方

6. 出願

- 出願資格：本国において12年以上の教育を修めた者、又これと同等以上の資格を持つ者
- 出願期間：4月入学：7月15日～9月30日、10月入学：1月15日～3月31日（どちらも定員になり次第×切り）
- 出願方法：本校までご連絡ください。
- 入学検定料：20,000円（税別 一度納入された選考料は返金できません）

(単位：円)		入学検定料	入学金	授業料	教材費	施設設備費	その他納付金	小計(税抜)	計(税抜)	計(税込)
進学1年6か月課程	1年目	20,000	100,000	600,000	40,000	30,000	28,000	818,000	1,180,000	1,298,000
	2年目			300,000	30,000	15,000	17,000	362,000		
進学2年課程	1年目	20,000	100,000	600,000	40,000	30,000	28,000	818,000	1,505,000	1,655,500
	2年目			600,000	40,000	30,000	17,000	687,000		

内訳は、下記のとおりとする。

<進学1年6か月課程・進学2年課程 (初年度)>

教材費：教科書代20,000円課外活動費20,000円

施設・設備費：施設費25,000円、設備費5,000円

その他納付金：保険料6,000円、健康診断費11,000円、布団・スリッパ11,000円

<進学1年6か月課程・進学2年課程（2年目）>

進学1年6か月課程（税別）	進学2年課程（税別）
教材費：教科書代 10,000 円、課外活動費 20,000 円 施設・設備費：施設費 12,500 円、設備費 2,500 円 その他納付金：保険料 6,000 円、健康診断費 11,000 円	教材費：教科書代 20,000 円課外活動費 20,000 円 施設・設備費：施設費 25,000 円、設備費 5,000 円 その他納付金：保険料 6,000 円、健康診断費 11,000 円

（一度納入された学費等は以下の場合を除いて一切返金できません。）

入学前：正当な手続きをした上でビザが取得できなかった場合は、納付金から入学検定料を差し引いた額をお返しいたします。自己都合で入学を辞退する場合は、納付金から入学金および入学検定料を差し引いた額をお返しいたします。

入学後：課程期間終了までに日本の大学等に進学が決定し、進学先の学期が本校の学期と重なる場合のみ、その期間の授業料のみ返金いたします。（詳細については学則を参照）

7. 入学手続きの流れ

○ 出願書類提出

送り出し機関、現地日本語学校の職員から、出願書類を提出してください。留学希望者の志望動機、出願書類の内容について確認をさせていただきます。一度提出された書類は本校および出入国在留管理局の審査結果合否にかかわらず、返却できません。

留学ビザを申請に必要な書類

No	申請者本人の書類	要 不
1	入学願書（学校様式 1 本人直筆サイン（押印可） （申請者情報、申込み課程、日本語学習歴、日本語能力、入国歴、学歴、職歴、家族構成を記入）	●
2	履歴書（学校様式 2-1）（学歴・経歴などを記載）	●
3	志望理由書（学校様式 2-2）（最終学歴の学校を卒業後 5 年以上経過している場合は日本語学校卒業後の進路も詳細に）、当校を選んだ理由、在学中の達成目標、修了後の予定を記入）	●
4	最終学歴の卒業証書（卒業証書の写しまたは卒業証明書の原本を提出 中国の大卒者の場合は学歴認証文書も提出する）	●
5	最終学歴の学業成績表（入学から卒業までに取得した単位等の状況が分かるものを提出）	●
6	証明写真（4×3 cm）（6 ヶ月以内に撮影されたカラー写真を 5 枚用意し、そのすべての写真の裏に氏名、性別、生年月日、国籍を記入）	●
7	パスポート（身分事項 (ID) のページおよび日本への出入国歴がある場合は出入国歴があるページの写しを提出 パスポート未取得の場合、身分証明書の写しを提出 刻印のある全ページも必要）	●
8	日本語学習証明書（以下の①、②のどちらかを提出） ①日本語能力試験 CEFR-A1 以上 (JLPT 等の N5 相当以上の合格証) ②日本語教育機関が発行した日本語学習証明書（授業時間 150 時間以上）	●
9	在学証明書及び成績証明書（申請時に在学中の申請者は在学証明書、学業成績表（入学から申請時まで取得した単位等の状況が分かるもの）を提出）	○
10	在職証明書（勤務期間や職種、役職の記載があるものを提出）	○
11	誓約書（学校様式 4）（入学及び在学するにあたり保証人と連帯する旨の誓約）	●
12	全ての書類に対しての日本語の翻訳	●

No	経費支弁者の書類	要 不
1	経費支弁書（学校様式 3）（経費支弁者の引受け経緯、学費、生活費、支弁方法、経費支弁者の名前、電話番号、住所、会社名、申請者との関係を記入）	●
2	申請者と経費支弁者との関係を証明する公文書（親族関係公証書等、戸籍謄本、出生届など国によっては、支弁者の家族構成を立証する書類として戸籍簿写し（支弁者家族全員分）、その他支弁者と申請人の関係がわかる公的機関の書類）	●
3	経費支弁者が両親以外の場合（例：親族等）は受託経緯等説明書（申請人の両親に代わり経費支弁を受託した具体的経緯及びその実情 申請人の両親が経費支弁を履行できない具体的経緯及びその実情）	○
4	預金残高証明書（経費支弁者の名義で発行日が 3 ヶ月以内のもので、150 万円以上残高があること。定期預金の場合は期限が入学時まで有効のものを提出）	●

5	通帳のコピー・出入金明細等（直近のものまたは、国によっては過去3年分）（支弁するための資金を形成した経緯を明らかにする資料）	●
6	支弁者の職業を立証する書類（在職証明書（勤務期間や職種、役職の記載があるものを提出）、法人登記簿謄本・営業許可証のいずれか）	●
7	支弁者の家族構成を立証する書類（戸籍謄本・住民票・出生証明等で家族構成を証明する）	●
8	所得証明書（直近のものまたは、国によっては過去3年分）（年間所得が確認できる証明書を提出）	●
9	納税証明書（直近のものまたは、国によっては過去3年分）または免税証明書（収入額及び納税額の分かるもの）	●
10	支弁者の在留カード（外国籍の場合のみ）（在日の支弁者の情報）	○
11	日本に親族等がいる場合は親族の在留カードの写しと親族の通勤・通学先情報（在日の親族の情報）	○
12	経費支弁者の在職証明書	●
13	その他の資料（身分証明書の写し）	○
14	全ての書類に対しての日本語の翻訳	●

（証明書の有効期限は申請日から遡って、国内 3ヶ月・国外 6ヶ月以内） ●印は必須、○印は必要に応じて提出
 申請者の国籍や出入国在留管理庁での申請歴等で必要な書類や条件が異なりますので詳細はお問合せください。また、上記以外の書類も必要に応じてご提出いただく場合があります。

必要書類の注意事項

<申請者に関する書類>

① 入学願書

- ◇本校所定の用紙に、母国語で空欄のないように記入。
- ◇出生地は戸籍謄本を参照し△△市まで記載。

② 写真5枚

- ◇4cm×3cm 正面向無帽で、6ヵ月以内に撮影されたもの。（裏面に氏名を記入）

③ 履歴書（書式4）

- ◇本学所定の用紙に、入学願書と相違なく、母国語で空欄のないように記入。
- ◇学歴、職歴は空白期間がないように、また所在地は省略せずに～号まで記載。（空白期間があればその旨理由書に記入）

④ 志望理由書（書式4の2）

- ◇志望理由は具体的かつ簡潔に記入
- ◇修了後の予定もできる限り記入する事（※最終学校の卒業から5年以上経過している場合は修了後の予定は未定などとせずすべて具体的に記入すること。

⑤ 最終学校卒業証明書

- ◇最終学歴の卒業証書原本
- ◇在学生は最終学校の在学証明書又は卒業見込み証明書
 （夜間大・通信大等の大学を卒業した方又は休学中・退学者は該当学校の証明の他に、高校の卒業証書も提出）

⑦ 最終学校成績証明書

- ◇取得した単位等の状況が記載されているもの。
- ◇中国人で大卒者の場合は次の①～③のいずれか1つも提出すること。

- ①大学統一試験の成績認証書
- ②高等学校卒業統一試験の合格証明書
- ③高等学校卒業統一試験☆成績認証書

⑧ 旅券コピー（既に持っている場合）

- ◇刻印のあるページを全てコピーして提出。

⑨ 日本語学習歴証明書（過去に日本語を学習した経験のある場合）

- ◇日本語を学習した機関が発行した証明書を提出。（CEFR-A1（JLPTN5相当合格者）と同等レベル及び既習時間数は150時間以上とする）
- ◇学習証明書の記載内容
 学習期間、出席率、履修内容、課程名称、当該課程終了目標レベル、使用教材名

⑨ 日本語能力証明書（日本の文部科学省が認めた各種試験）

- ◇例として、日本語能力試験 N5以上、J. TEST 実用日本語検定 F級など

⑩ 在職証明（現在仕事をしている場合）

- ◇在職している会社が発行した証明書を提出。

<経費支弁者に関する書類>

- ⑪ 経費支弁書（書式5）
 - ◇所定用紙に経費支弁者本人が自筆で具体的に記入し署名して下さい。
 - ◇経費支弁引受の経緯について必要な場合は別紙に記入して下さい。
- ⑬ 戸籍謄本・親族関係公証書など
 - ◇経費支弁者と申請人との関係を表すもの
- ⑭ 経費支弁者が両親以外の場合の受託経緯説明文書（例：親族等が支弁者）
 - ①申請人の両親に代わり経費支弁を受託した具体的経緯及びその実情
 - ②申請人の両親が経費支弁を履行できない具体的経緯及びその実情（※経費支弁者自身が別紙に記入するとしているが、経費支弁書内に①、②を十分に説明する事ができていれば本文書を省略できる。）
- ⑮ 預金残高証明書
 - ◇発行3カ月以内（約150万円以上が望ましい）
- ⑯ 預金通帳のコピー・出入金明細等
 - ◇経費として支弁するための資金を形成するに至った経緯を明らかにする資料（直近のもの、または国によっては過去3年分、銀行で積み立てをしない場合は出納帳などで毎月の収入・支出から貯金額などを説明できる一連の証明書類）
- ⑰ 銀行口座
 - ◇現地銀行の口座証明書（中国の銀行は存単証明書）
- ⑱ 支弁者の職業を立証する書類
 - ◇職業により次①～③いずれかを提出して下さい。
 - ①会社経営者及び役員－法人登記簿謄本
 - ②自営業者－営業許可証及び税務署受付印のある確定申告書（控）の写し
 - ③会社員－在職証明書（※勤務先の会社が作成したもの）
- ⑲ 支弁者の家族構成を立証する書類
 - ◇戸籍謄本・住民票等
 - ◇身分証明書や出生証明等で関係性を立証する事も可
- ⑳ 所得証明
 - ◇会社所定の専用用箋にて提出（直近のもの、または国によっては過去3年分）（会社役員の場合、納税証明、決算書の写し）
- ㉑ 納税証明
 - ◇収入又は所得金額の記載のあるもの（直近のもの、または国によっては過去3年分）
- ㉒ 経費支弁者が日本国内在住の場合
 - ◇経費支弁者の在留カードの写し（両面）
- ㉓ 日本に親族などがいる場合
 - ◇在日親族の在留カードの写し（両面）
 - ◇在日親族の勤務先・通学先情報
- ㉔ 全ての書類に対して日本語の翻訳を添付する。

【注意事項】

- ・上記書類のうち卒業証書の原本以外は返却しません。
- ・複数の申請人に支弁者一人が経費支弁することは認められません。
- ・一人の申請人に複数人の支弁者で経費支弁をすることは認められます。
- ・申請人本人が経費支弁することもできます。
- ・日本語以外で書かれた書類には、日本語訳（別紙として）をつけて下さい。（日本語訳の書式は自由）
- ・出生地、現住所は正しく記入して下さい。
- ・入学願書、履歴書、身分証の現住所は同一となるように記載してください。
- ・過去に不許可・不交付になったことのある申請人が再申請する場合は、その旨通知してください。（不許可・不交付は「留学」以外の在留資格に係るものも含まれます。）
- ・入学願書受付期間内に必要書類が提出されない場合、記入漏れがある場合、必要な学校納付金が納付されない場合は、申請はできません。
- ・最終学校卒業後5年以上経過している場合、日本語学習目的、卒業後の進路を具体的に記してください。

○ 審査・選考

書類審査、面接、入学試験により入学選考を行い、選考結果を送り出し機関、現地日本語学校の職員に通知

いたします。

○ 出入国在留管理局へ申請

本校は「入学許可証」を発行後、提出された出願書類を添えて出入国在留管理局へ「在留資格認定証明書交付申請」を行います。（出入国在留管理局からの結果発表は4月入学生は3月初旬、10月入学生は9月初旬になります。）

○ 学費の納入

在留資格認定証明書が発行されたら、本校より送り出し機関、現地日本語学校職員に発行されたことを連絡いたします。申請者は入学日の一月前までに所定の金額を納入してください。

○ 入学許可証及び在留資格認定証明書の送付

納入金の入金確認後「入学許可書」を発行いたします。パスポートがまだの方は自国で申請をしてください。出入国在留管理局より許可が下りると本校に「在留資格認定証明書」が交付されますので、送り出し機関、現地日本語学校の職員にご連絡いたします。「今後の手続きの流れ」、「スケジュール」、「在留資格認定証明書」を送り出し機関、現地日本語学校の職員にお送りいたします。

○ ビザの取得

出願者本人が「在留資格認定証明書」、「入学許可書」、パスポートを持って、自国の日本大使館または領事館等でビザを申請します。許可は通常1～2週間で下ります。「在留資格認定証明書」の有効期間は通常3ヶ月です。有効期間を過ぎると日本に入国できませんので注意しましょう。

○ 来日

入学式までに入国してください。授業開始前にオリエンテーションを行います。日本での生活、学校生活、法律など留学生活全般について説明します。またクラス分けやテキスト選定のためのレベルチェックテストを行います。必ずご参加ください。（やむをえない事情で入学式までに来日・登校できない場合はあらかじめ必ずご連絡ください。）

あいち星光日本語学校

〒454-0013 愛知県名古屋市中川区八熊三丁目 2105 TEL/FAX

TEL : 050-3627-8217 FAX : 050-3588-3788 E-mail

info.aichiseikou@gmail.com

あいち星光日本語学校入学願書

APPLICATION FOR ADMISSION

氏名 Name In full	日本語表記 In Kanji		英文表記 In English		写真	
	自国語表記 In your native language			性別 Sex		
	Family name 姓	Given name 名	男 Male /	女 Female		
生年月日 Date of Birth	年 Year	月 Month	日 Da	年齢 Age	国籍 Nationality	
出生地 (市町村まで記入) Place of Birth			婚姻状況 Marital Status Married / Single		職業 (Occupation)	
			有 ・ 無			
現住所 Present Address				電話 Tel		
旅券 Passport	番号 (No)		発行年月日 (Date of Issue)			
	有効期限 (Date of Expiration)		発行機関 (Issuing Authority)			
希望学習期間 Intended Length of Study (1.5 / 2) 年 Year			査証申請予定地 Place to apply for visa			
最終学歴 Educational Carrier	高校 ・ 専門学校 ・ 大学 ・ 大学院 High School / College / University / Graduated School			本国における合計修学年数 Total Education in your country		
	卒業 (Graduated) ・ 中退 (Resign) ・ その他 (Others)			年 (Years)		
日本語学習経験 Japanese Language Experience						
学校名 (Institution)	学校所在都市名 (Address)		合計履修時間 (Total Hours)	学習期間 (Period)		
				年 月 ~ 年 月 From Year month To year month		
家族 Family						
氏名 Name in full	関係 Relatives	年齢 Age	職業 Occupation	住所/電話 Address/Phone		
在日保証人・在日親戚 Sponsor, Relatives, Friends in Japan (必要に応じて)						
氏名 Name in full	関係 Relatives	年齢 Age	職業 Occupation	住所/電話 Address/Phone		

以上の通り相違ありません。 I do hereby declare above statement is true and correct.

年 (Year) 月 (Month) 日 (Day) 署名 (Signature) :

履 歴 書

- 1 国籍：
- 2 氏名：
- 3 生年月日：年.....月.....日
- 4 性別 男・女
- 5 現住所：
- 6 配偶者の有無： 無・有 (配偶者氏名：)
- 7 学歴： (初等教育(小学校)から順次最終学歴まで)

学校名	所在地	修学期間	
		入学年月日	卒業年月日
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
(日本語学習歴)			
(6)			
(7)			

8 職歴： (就職年月日順に記載すること)

勤務先(職業、役職)	所在地	就職年月日	退職年月日
(1)			
(2)			
(3)			

続柄	国籍	氏名	生年月日	職業	住所
(1) 父					
(2) 母					
(3)					
(4)					

10 過去の出入国歴

入国年月日	出国年月日	在留資格	入国目的
(1)			
(2)			
(3)			

さらに出入国歴がある場合は、下に記入してください。

11 志望理由 :

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

12 修了後の予定 :

進学希望・その他 (帰国など)

(1) 進学希望先学校名 : 希望科目 :

(2) その他 (帰国など)

.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上のことはすべて事実であり、私.....が直筆したものです。

作成年月日 : 年__月__日

本人署名 :

経 費 支 弁 書

入国管理局長 殿

国 籍 _____

学生氏名 _____

年 月 日生 (男・女)

私は、このたび上記のものが日本国に在留中入国した場合の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに経費支弁について証明します。

記

1 経費支弁の引受け経緯 (申請者の経費支弁を引受けた経緯及び申請者との関係について具体的に記載してください。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 経費支弁内容

私 _____ は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。

また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳 (送金事実、経費支弁事実が記載されたもの) の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

記

(1)	学 費	1.5 年 / 2 年	円
(2)	生 活 費	月 額	円

(3) 支 弁 方 法 (送金・振込み等支弁方法を具体的に書いてください。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

年 月 日

経費支弁者

住 所 〒 _____ 電 話 _____

職 業 _____ 年 収 _____ 円

学生との関係 _____ 氏 名 (署名) _____ (印)

誓約書

私がいち星光日本語学校に入学及び在学するにあたり、保証人と連帯して下記のことを誓約します。記

【学校生活について】

- 一、本国の法律及び入国管理法を遵守し、学校の指導に従い、規則を守ります。
また、日本入国の際に提出した目的に沿った行動をし、学生らしい生活を行います。

【外国人登録、保険加入、健康診断について】

- 二、入国後速やかに外国人登録をし、国民健康保険に必ず加入します。三、健康診断は必ず受診致します。

【転校について】

- 四、入学後の転校は正当で合理的な理由がない限り、入国管理局も貴校も認めないことを承知しています。

【授業料及び学校納付金について】

- 五、選考料は、いかなる場合も返還されないことを承知しています。
- 六、入学金・設備費・授業料は、在留資格認定書と引き換えに必ず納付します。
- 七、一度納付した授業料及び学校納付金は、原則返還されないことを承知しています。
 - ①入学許可書受領後、本人、その他経費支弁者等の都合で入学を辞退した場合、納めた入学金は返還されないことを承知しています。
 - ②在留資格認定証明書受領後、在外公館が査証を不許可にした場合、入学金は返還されないことを承知しています。
 - ③授業料は課程途中で専門学校・大学・大学院の正規生に進学し、資格変更がパスポートの原本等の提示により確認された場合以外には返還されないことを承知しています。
 - ④出席不良等で除籍退学となった場合、法に違反し警察に拘留された場合、退去強制の手続きが取られた場合、すべての納付金は返還されないことを承知しています。

【その他】

- 八、学校に提出した申請書類等は、卒業証書原本を除き一切返却されないこと、学内審査の結果、不合格になる場合もあることを承知します。また申請書類の整備が不十分等の理由で申請時期が6ヶ月遅れる場合があることを了承します。
- 九、出席不良、怠学または入国管理局の資格外活動の許可なしにアルバイトをするなどして、学生本人が学校を除籍された場合、保証人の私が帰国旅費を負担し責任をもって、本人を速やかに帰国させること誓います。
- 十、誓約書は諸事情（法令・学則等）の変更により、事前の通達をもって変更されることがあることを承知しています。

年 月 日

学生 氏名：

保証人氏名：

本人住所：

電話：